

平成 30 年度決算 財務の概要

①貸借対照表の状況

- ・平成 30 年度末の総資産は 1 8, 9 6 1 百万円(前年度比 4 2 7 百万円減少)、総負債は 6 3 5 百万円(前年度比 7 1 百万円増加)となり、その結果、純資産は 1 8, 3 2 5 百万円(前年度比 4 9 8 百万円減少)となった。
- ・有形固定資産については、施設・設備の更新等で 1 0 5 百万円増加したが、除却及び減価償却額を 3 0 0 百万円計上したことにより、全体として 1 9 5 百万円の減少となった。
- ・基本金については、第 1 号基本金の 6 8 百万円の繰入を行った。
なお、当年度末の基本金残高は 2 6, 5 4 7 百万円となり、未組入高は 3 7 百万円である。

②収支計算書の状況

(事業活動収支)

- ・当年度の事業活動収入は 1, 5 8 4 百万円となり、前年度と比較して 1 1 4 百万円増加となった。その主な内容は、経常費等補助金が前年度比 3 5 百万円、雑収入が前年度比 6 9 百万円増加したことによるものである。
- ・当年度の事業活動支出は 2, 0 8 3 百万円となり、前年度と比較して 1 8 8 百万円増加となった。その主な内容は、人件費が前年度比 1 3 5 百万円、教育研究経費が前年度比 5 0 百万円、管理経費が前年度比 1 6 百万円それぞれ増加したこと、徴収不能額等が前年度比 1 2 百万円減少したことによるものである。

以上の結果、基本金組入前当年度収支差額は 4 9 8 百万円の支出超過(前年度は 4 2 5 百万円の支出超過)、当年度収支差額は 5 6 7 百万円の支出超過(前年度は 4 5 7 百万円の支出超過)となった。

(資金収支)

- ・当年度の資金収入(繰越支払資金除く)は 1, 5 6 7 百万円となり、前年度と比較して 2 0 百万円の収入増となった。
その主な内容は、補助金収入が前年度比 3 5 百万円、雑収入が前年度比 6 9 百万円、前受金収入が前年度比 1 6 百万円それぞれ増加したことによるものである。
なお、本年度決算においては、資金収入調整勘定によって前年度と比べて 1 1 5 百万円の調整が多くなされている。
- ・当年度の資金支出(繰越支払資金除く)は 1, 8 5 6 百万円となり前年度と比較して 2 2 5 百万円の支出増となった。
その主な内容は、人件費支出が前年度比 1 3 6 百万円、教育研究経費支出が前年度比 5 9 百万円、管理経費支出が前年度比 1 6 百万円、施設関係支出が前年度比 3 4 百万円、設備関係支出が前年度比 3 7 百万円それぞれ増加したことによるものである。

なお、本年度決算においては、資金支出調整勘定によって前年度と比べて40百万円の調整が多くなされている。

以上の結果、当年度の資金収支差額は289百万円の支出超過（前年度は84百万円の支出超過）となり、翌年度繰越支払資金は1,563百万円で前年度と比較して289百万円の減少となった。